

非常変災時等におけるオンラインの活用について

四日市南高等学校

1 基本的な考え方

整備されたオンライン教育に関する資産を積極的に活用し、暴風警報等の発令や公共交通機関の不通による臨時休業、災害等で臨時休業が長期に及ぶ場合には、オンラインによる生徒の安否確認や学びの保障を行います。

生徒のみなさんは、絆メール配信システムへの登録や Google classroom にログインできるように日頃から準備しておいてください。また、臨時休業等になった場合は、1日に1回以上は Google classroom を確認するようにしてください。

2 生徒の安否確認について

災害等が発生した場合、安否確認を G-suits を利用したアンケート等で行います。生徒は Google classroom の各 HR（ストリーム）またはメール配信システムで確認をしてください。

3 暴風警報や特別警報、公共交通機関の不通等により臨時休業となった場合の具体的な対応

(1) 従来から利用しているメール配信システムと併用し、Google classroom でも連絡を行います。

(2) 臨時休業等が長期間となる可能性がある場合は、オンライン HR や授業等のオンライン教育を実施します。

※オンライン教育は、ライブ授業やオンデマンド型授業のほか、教科の課題の配信等です。

4 公共交通機関の不通等により、一部の生徒が登校できない場合の具体的な対応

(1) 事前に判明している場合は、Google classroom やメール配信システムで対応等を連絡します。

(2) 災害等により公共交通機関が急遽不通となった場合は安否及び状況確認を G-suits を利用したアンケート等で行います。

(3) 登校できない状況が長期間となる可能性がある場合は、ICT を活用した対応を行います。

<登校できない生徒への対応例>

- ・各授業の様子をビデオカメラやパソコン等を活用してライブ配信。
- ・ビデオカメラで撮影した授業を Google classroom で視聴。
- ・課題プリントの配信。